



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月13日

上場会社名 トーヨーカネツ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6369 URL <https://www.toyokanetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳川 徹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部財務企画部長 (氏名) 米原 岳史

TEL 03-5857-3333

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 26,963 | △14.5 | △240 | — | 85 | △96.5 | △68 | — |
| 30年3月期第3四半期 | 31,546 | 9.3 | 2,035 | △9.6 | 2,428 | △8.0 | 2,127 | △28.7 |

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △1,526百万円 (—%) 30年3月期第3四半期 3,535百万円 (15.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第3四半期 | △7.54 | — |
| 30年3月期第3四半期 | 225.61 | — |

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 31年3月期第3四半期 | 55,566 | 33,207 | 59.8 | 3,673.34 |
| 30年3月期 | 55,818 | 36,666 | 65.7 | 3,941.68 |

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 33,205百万円 30年3月期 36,665百万円

(注) 平成31年3月期より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）の適用による表示方法の変更を行ったため、平成30年3月期の連結財政状態は当該変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | 0.00 | — | 100.00 | 100.00 |
| 31年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 31年3月期（予想） | | | | 100.00 | 100.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-----|-------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 47,900 | 14.7 | 2,270 | 0.2 | 2,620 | △1.0 | 1,700 | △28.0 | 184.54 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 31年3月期3Q | 9,323,074株 | 30年3月期 | 9,703,074株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年3月期3Q | 283,511株 | 30年3月期 | 401,043株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 31年3月期3Q | 9,108,896株 | 30年3月期3Q | 9,431,914株 |

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しており、また、当社ホームページに記載しております。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 5 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 6 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 6 |
| (5) 追加情報 | 6 |
| (6) セグメント情報等 | 7 |
| (7) 重要な後発事象 | 8 |
| 3. 補足情報 | 9 |
| (1) 受注及び受注残高の状況 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)の連結業績は、物流システム事業における工期の後ずれや一部不採算案件の発生、また、機械・プラント事業における厳しい事業環境の継続などの影響により、売上高は269億63百万円(前年同四半期比14.5%減)、営業損失は2億40百万円(前年同四半期は営業利益20億35百万円)となりました。経常利益は85百万円(前年同四半期比96.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は68百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益21億27百万円)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

・物流システム事業

従来の常温環境に加え冷凍環境向けの「マルチシャトル」を組み込んだ庫内搬送設備案件や空港向け設備案件を中心に売上計上されましたが、工期の後ずれによる売上の減少及び一部不採算案件の発生並びに物流事業の更なる拡大のための人的リソース強化に伴うコスト増などにより減収・減益となりました。

この結果、当事業の売上高は166億90百万円(前年同四半期比17.3%減)、営業利益は79百万円(同94.6%減)となりました。

・機械・プラント事業

低調な受注環境が継続しており、海外の中小規模案件で若干の受注を獲得するも、全般的に厳しい事業状況に変化はなく、当事業の売上高は49億36百万円(前年同四半期比31.3%減)、営業損失は9億25百万円(前年同四半期は営業利益2億11百万円)となりました。

・その他

上記に属さないその他の事業は、それぞれの事業特性に応じ業績の向上に注力した結果、売上高は53億36百万円(前年同四半期比27.8%増)、営業利益は8億79百万円(同29.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は315億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億75百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が46億23百万円、仕掛品が18億62百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が45億92百万円、有価証券が5億0百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は240億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億26百万円減少しました。これは主に投資有価証券が18億17百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は555億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億51百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は166億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億86百万円増加しました。これは主に短期借入金が30億44百万円、前受金が18億96百万円それぞれ増加したことによるものです。固定負債は56億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億78百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が7億70百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は223億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億7百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は332億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億59百万円減少しました。これは主にその他有価証券評価差額金が14億1百万円減少したこと、剰余金の配当9億30百万円、自己株式の取得10億4百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は59.8%(前連結会計年度末は65.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年9月25日に公表しました業績予想数値から変更しておりませんが、第3四半期の業績が想定を下回ったことから、現在精査中であります。

今後、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,421 | 7,829 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,387 | 14,011 |
| リース投資資産 | 1,781 | 1,566 |
| 有価証券 | 500 | — |
| 商品及び製品 | 40 | 32 |
| 仕掛品 | 3,819 | 5,682 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,640 | 1,667 |
| その他 | 494 | 767 |
| 貸倒引当金 | △21 | △15 |
| 流動資産合計 | 30,064 | 31,539 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,457 | 3,454 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,152 | 1,082 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 282 | 314 |
| 土地 | 10,707 | 10,556 |
| 建設仮勘定 | 110 | 366 |
| その他(純額) | 0 | 14 |
| 有形固定資産合計 | 15,710 | 15,789 |
| 無形固定資産 | 368 | 368 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,730 | 6,912 |
| 繰延税金資産 | 58 | 47 |
| 退職給付に係る資産 | 398 | 326 |
| その他 | 778 | 871 |
| 貸倒引当金 | △292 | △290 |
| 投資その他の資産合計 | 9,674 | 7,869 |
| 固定資産合計 | 25,753 | 24,026 |
| 資産合計 | 55,818 | 55,566 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,033 | 1,692 |
| 短期借入金 | 4,604 | 7,649 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 15 | — |
| 未払費用 | 3,380 | 3,658 |
| 未払法人税等 | 316 | 105 |
| 前受金 | 417 | 2,313 |
| 賞与引当金 | 242 | 16 |
| 受注損失引当金 | 183 | 169 |
| 完成工事補償引当金 | 580 | 435 |
| その他 | 924 | 643 |
| 流動負債合計 | 12,698 | 16,684 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,080 | 3,153 |
| 繰延税金負債 | 1,591 | 820 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 1,107 | 1,095 |
| 退職給付に係る負債 | 325 | 351 |
| 資産除去債務 | 321 | 225 |
| その他 | 27 | 27 |
| 固定負債合計 | 6,453 | 5,674 |
| 負債合計 | 19,151 | 22,359 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 18,580 | 18,580 |
| 資本剰余金 | 1,273 | 1,273 |
| 利益剰余金 | 15,750 | 13,454 |
| 自己株式 | △1,397 | △1,077 |
| 株主資本合計 | 34,207 | 32,231 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,995 | 1,594 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △0 |
| 土地再評価差額金 | 133 | 106 |
| 為替換算調整勘定 | △676 | △717 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 5 | △8 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,458 | 974 |
| 非支配株主持分 | 0 | 1 |
| 純資産合計 | 36,666 | 33,207 |
| 負債純資産合計 | 55,818 | 55,566 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 31,546 | 26,963 |
| 売上原価 | 25,570 | 23,043 |
| 売上総利益 | 5,976 | 3,919 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,940 | 4,159 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 2,035 | △240 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 9 |
| 受取配当金 | 280 | 296 |
| 為替差益 | 46 | — |
| その他 | 98 | 120 |
| 営業外収益合計 | 435 | 426 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27 | 37 |
| 為替差損 | — | 34 |
| その他 | 15 | 28 |
| 営業外費用合計 | 42 | 100 |
| 経常利益 | 2,428 | 85 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 320 | 74 |
| 負ののれん発生益 | — | 87 |
| その他 | 95 | 23 |
| 特別利益合計 | 415 | 185 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | — | 190 |
| 災害による損失 | — | 88 |
| その他 | 6 | 10 |
| 特別損失合計 | 6 | 289 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 2,837 | △18 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 462 | 194 |
| 法人税等調整額 | 247 | △143 |
| 法人税等合計 | 709 | 50 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 2,127 | △69 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 2,127 | △68 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失(△) | — | △0 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,497 | △1,401 |
| 繰延ヘッジ損益 | 14 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | △62 | △40 |
| 退職給付に係る調整額 | △41 | △13 |
| その他の包括利益合計 | 1,407 | △1,457 |
| 四半期包括利益 | 3,535 | △1,526 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,535 | △1,525 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | △0 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(自己株式の取得及び消却)

平成30年5月11日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,004百万円増加しました。

また、平成30年5月11日開催の取締役会決議に基づき、平成30年5月25日に自己株式の消却を行ったため、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ1,323百万円減少しました。

(5) 追加情報

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 調整額 | 合計 |
|-------------------|----------|---------------|--------|------------|------|--------|
| | 物流システム事業 | 機械・プラ ント事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 20,190 | 7,181 | 27,371 | 4,174 | — | 31,546 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | 499 | △499 | — |
| 計 | 20,190 | 7,181 | 27,371 | 4,673 | △499 | 31,546 |
| セグメント利益 | 1,458 | 211 | 1,669 | 681 | △314 | 2,035 |

(注) 「その他」の区分は、建築請負、産業用設備・機器の製造・販売、不動産賃貸、リース業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

| 利益 | 金額(百万円) |
|-----------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 1,669 |
| 「その他」の区分の利益 | 681 |
| 全社費用(注) | △316 |
| その他の調整額 | 2 |
| 四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益 | 2,035 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない、総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメント毎の固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 調整額 | 合計 |
|-------------------|----------|-----------|--------|------------|------|--------|
| | 物流システム事業 | 機械・プラント事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,690 | 4,936 | 21,626 | 5,336 | — | 26,963 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | 570 | △570 | — |
| 計 | 16,690 | 4,936 | 21,626 | 5,907 | △570 | 26,963 |
| セグメント利益又は損失(△) | 79 | △925 | △846 | 879 | △273 | △240 |

(注) 「その他」の区分は、建築請負、産業用設備・機器の製造・販売、不動産賃貸、リース業、アスベスト等の調査・測定及び分析等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

| 利益又は損失 | 金額(百万円) |
|--------------------------|---------|
| 報告セグメント計 | △846 |
| 「その他」の区分の利益 | 879 |
| 全社費用(注) | △273 |
| その他の調整額 | — |
| 四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△) | △240 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない、総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメント毎の固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

第1四半期連結会計期間において、環境リサーチ株式会社を子会社としたことに伴い、負ののれん発生益87百万円を特別利益に計上しております。

なお、当該負ののれん発生益は特定の報告セグメントに係るものではなく、「その他」の区分で認識しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません

3. 補足情報

(1) 受注及び受注残高の状況

(受注の状況)

| 事業の種類別セグメント | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日) | | 増減 | |
|-------------|--|----------------|--|----------------|----------------|-----------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 増減率 (%) |
| 物流システム事業 | 15,453 (294) | 69.9 (1.3) | 19,263 (610) | 70.5 (2.2) | 3,810 (316) | 24.7 (107.4) |
| 機械・プラント事業 | 5,881 (1,553) | 26.6 (7.0) | 7,027 (1,584) | 25.7 (5.8) | 1,145 (30) | 19.5 (2.0) |
| その他 | 769 (-) | 3.5 (-) | 1,031 (-) | 3.8 (-) | 261 (-) | 34.0 (-) |
| 合計 | 22,104 (1,847) | 100.0 (8.4) | 27,322 (2,194) | 100.0 (8.0) | 5,218 (347) | 23.6 (18.8) |

() 内は内数であって、海外受注高を示しております。

(受注残高の状況)

| 事業の種類別セグメント | 前連結会計年度末 (平成30年3月31日) | | 当第3四半期連結会計期間末 (平成30年12月31日) | | 増減 | |
|-------------|--------------------------|----------------|--------------------------------|----------------|---------------|---------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 増減率 (%) |
| 物流システム事業 | 20,482 (130) | 75.6 (0.5) | 23,056 (137) | 72.8 (0.4) | 2,573 (7) | 12.6 (6.0) |
| 機械・プラント事業 | 6,007 (1,040) | 22.2 (3.8) | 8,098 (1,060) | 25.6 (3.4) | 2,091 (19) | 34.8 (1.9) |
| その他 | 606 (-) | 2.2 (-) | 498 (-) | 1.6 (-) | △107 (-) | △17.7 (-) |
| 合計 | 27,095 (1,170) | 100.0 (4.3) | 31,653 (1,198) | 100.0 (3.8) | 4,557 (27) | 16.8 (2.3) |

() 内は内数であって、海外受注残高を示しております。